

▼人口のうごき

人口 114,639人 (-91人)
 男 55,082人 (-34人)
 女 59,557人 (-57人)
 世帯 49,477世帯 (-1世帯)
 平成24年12月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより
0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院
0897-58-2200 (常時)
- 災害情報
0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

元旦の郵便受けから物音が聞こえ、急いで駆け寄ると、私の楽しみにしていた年賀状が届いていました。

学生時代は、新年のあいさつをメールで済ますこともあった友人たち。互いの結婚を機に、再び年賀状を送り合うようになりました。遠く離れた地で、妻となり母となっていく彼女たちの姿を見ると、「私も頑張ろう」という思いが自然と湧いてきます。

世間では、フェイスブックやツイッターで、知人の近況を随時確認することが流行のようですが、年賀状のような、ちょっとアナログな交流も捨てたいですね。(や)

一昨年8月から隔月で連載したこのコーナーも、ひとまず今回で最終回。有終の美を飾る歴史上的一幕は、総合文化会館近くの大通寺です。

伊予国東予地方では屈指の古刹であり、伽藍の周囲には葦の原が広がっていた大通寺。干拓した田畑を耕し暮らす人々の集落がそこに点在し、子どもたちにすればその境内

は最高の遊び場でした。また、大人たちにとっては菩提寺でも集会所でもあり、お墓参りやら本堂参拝の人々でにぎわう、誠にのどかな場所だったので、秀吉による四国征伐で当地が戦場となった「天正の陣」で高峠城が陥落、氷見の野々市ヶ原にて東予将兵総崩れとなってしまった天正13(1585)年7月17日夕刻からは、命からがら逃げ惑う落ち武者たちや、追撃してくる敵勢を恐れた地域住民らが、大通寺に立てこもったのです。

敵軍にすればこれを放置しておくわけがありません。広大な境内を包囲しては容赦ない一斉攻撃を仕掛け、たった半日足らずでささやかながらも抵抗する人々もろとも、大通寺は灰燼に帰したのです。

▼本コーナーをご担当いただいた菅靖匡さんの最新作「お助け侍奔走 世直し道楽伝」絶賛発売中!



▲毎月8日の御縁日に開催される大通寺「花薬師」。境内は骨董市でにぎわいます。取材日は雲が広が肌寒い天候でしたが、暖かい焼きイモをごちそうになりました。



が、秀吉による四国征伐で当地が戦場となった「天正の陣」で高峠城が陥落、氷見の野々市ヶ原にて東予将兵総崩れとなってしまった天正13(1585)年7月17日夕刻からは、命からがら逃げ惑う落ち武者たちや、追撃してくる敵勢を恐れた地域住民らが、大通寺に立てこもったのです。

後の江戸時代、西条藩主となった松平家や周辺地域の庄屋さんの尽力により大通寺は再建され、現在では「これがお寺さん？」とも想えるようなモダンな本堂に、花薬師如来様がご本尊です。

毎月8日がご縁日で、この日には境内に骨董市が立ち、お昼ころにはおいしい大通寺蕎麦のお接待もありますよ。

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.90 ホシハジロ (冬鳥)

全長45cm、雄は頭の赤茶色が特徴で、胸は黒く、体は灰白色のスッキリした配色の見つけやすいカモですが、よく潜る「潜水ガモ」です。海に出ることは少なく、川や池で潜って水草や小魚を捕えて食べています。西条では少数派のカモで、加茂川や新川の河口付近、黒瀬ダムなどで時々見られています。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

食卓に安心を  和牛専門

TAJIMA

西条市氷見 とうしょく氷見店内 ☎0897-57-7071
 西条市丹原町 とうしょく丹原店内 ☎0898-68-0040

「耳つぼ」で、心も体もRefresh

買い物ついでに屋裡で、疲せましょう

- 耳つぼで
リバウンドしない体作り
冷え、むくみがとれる
鼻炎・耳鳴りにも!
- 最新の電流で
部分痩せ
美顔
- ひまし油湿布
いつまでも健康でいたいから

リラクゼーション
十亀足

西条市喜多川729-1うさみビル1F
 ☎0120-56-8506
 10:00~22:00 月曜日 完全予約制